

呼吸器内科

診療科の紹介

当科では、すべての患者様に「呼吸器内科というサブスペシャリティを持つ"内科医"として、可能な限り幅広く、そして奥深く診療すること」を目標に診療を行っております。常勤医3名、非常勤医師6名体制で診療を行っており、外来は月曜日から金曜日の毎日午前呼吸器専門外来を開催しております。紹介患者様に付きましては、早急に対応する為に、事前に紹介状を頂ければ幸いです。また当院は救命救急センターを併設しておりますので、呼吸器緊急疾患に対して、24時間対応できる体制を整えております。呼吸器疾患は生命にかかわる場面が多く、迅速に対応することが必要とされますので、緊急の際はお気軽にお電話を頂ければ対応致します。北九州および八幡地域の患者様・医療機関の先生方の信用・信頼を得られるよう、一同力を合わせより良い医療を提供すべく努力を積み重ねてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

診療科の特徴(強みや新たな取り組み等)

呼吸器内科は常勤医3名と非常勤医6名の計9名で診療しています。当院の救急病院としての特色を活かし、新型コロナウイルス感染症を含む呼吸器感染症・気管支喘息・COPD(慢性閉塞性肺疾患)・間質性肺炎を中心に急性呼吸不全及び慢性呼吸不全の急性増悪などの救急患者に対応しています。

肺癌診療に関しては、気管支鏡専門医の下、肺生検、縦隔リンパ節生検、胸腔鏡検査による肺癌診断を行なうと共に、抗がん剤治療・外科的治療に関しても積極的に取り組んでおります。

放射線治療など 当院で提供困難な治療が必要な場合は、産業医科大学病院様や北九州医療センター様と連携しておりますのでご紹介いたします。

重症気管支喘息に対しては生物学的製剤による治療を行っており、重症喘息でお悩みの患者様がおりましたら、早めにご紹介頂ければ幸いです。

慢性期管理では、慢性呼吸不全に対しての在宅酸素療法の導入に加えて、薬剤師・看護師・理学作業言語療法士・MSWを含めた多職種連携による外来・入院における呼吸器リハビリや、近年では呼吸器診療に欠かすことの出来ない吸入薬に対する患者指導も積極的に行っています。また睡眠時無呼吸症候群に対しての終夜睡眠ポリグラフ検査及びCPAP療法の導入にも対応しております。当院では急性期から慢性期まで幅広い呼吸器診療を心がけています。

主な検査

〈気管支鏡検査〉

気管支内視鏡関連認定施設として、気管・気管支病変及び肺内病変に対して、年間100例程度の気管支鏡検査を行っております。ほぼ全例鎮静薬の投与下に検査を行うことによって苦痛を出来る限り与えないように心がけています。原則1泊2日の入院で検査を行います。

主に腫瘍性病変に対しての経気管支肺生検・擦過細胞診、びまん

性肺疾患に対しての気管支肺泡洗浄検査などを行っています。また適応症例に対しての気管支充填剤(EWS)の留置なども行っており幅広い疾患に対応しています。オリンパス社製の最新ビデオスコープ(290シリーズ)及び超音波システム(ガイドシース併用気管支内腔超音波断層法)が導入されており優れた診断精度での検査が提供出来るよう努めています。コンベックス走査式超音波気管支鏡(BF-UC290F)を導入したことにより縦隔リンパ節を含めた気管支周囲組織の超音波気管支鏡下吸引針生検(EBUS-TBNA)が実施可能となり、気管支鏡検査における適応疾患がさらに拡大しています。

〈局所麻酔下胸腔鏡検査〉

一般的な胸水検査では診断をつけることが出来ない胸水に対して局所麻酔下での胸腔鏡検査を施行しています。胸腔内の観察及び壁側胸膜の生検・細胞診を行うことにより原因診断を行っています。主に癌性胸膜炎・悪性胸膜中皮腫・結核性胸膜炎などの診断に有用です。

〈終夜睡眠ポリグラフ検査〉

毎週水曜日に1泊2日の個室入院により終夜睡眠ポリグラフ検査を行っています。睡眠時無呼吸などの睡眠障害に対する精密検査を行います。検査目的の紹介は内科外来にて随時受け付けています。

取り扱う主な対象疾患

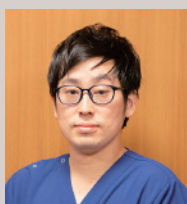
- 呼吸器感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、急性気管支炎、市中肺炎、医療・介護関連肺炎、院内肺炎、肺膿瘍、肺結核、肺非結核性抗酸菌症、肺真菌症)
- 慢性閉塞性肺疾患(肺気腫、慢性気管支炎)
- アレルギー・免疫疾患(気管支喘息、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、サルコイドーシス、ANCA関連血管炎、過敏性肺炎、好酸球性肺炎)
- 間質性肺疾患(特発性間質性肺炎：特発性肺線維症、特発性非特異性間質性肺炎、特発性器質化肺炎など・膠原病関連間質性肺炎・薬剤性肺炎)
- 肺腫瘍(原発性肺癌、転移性肺腫瘍、肺良性腫瘍、胸膜中皮腫、縦隔腫瘍)
- 胸膜疾患(胸膜炎、胸水、膿胸、気胸)
- 慢性咳嗽(咳喘息、アトピー咳嗽、後鼻漏、喉頭アレルギー)
- 呼吸不全(1型・2型呼吸不全、結核後遺症、在宅酸素療法、非侵襲的陽圧換気)
- 職業性肺疾患(じん肺、石綿肺)
- 睡眠時無呼吸症候群

など

令和6年度呼吸器内科に係る診療実績

項目	実績数(名)	1日平均患者数
外来患者数	4,297	17.7
入院患者延べ数	9,050	24.8

スタッフ紹介



呼吸器内科主任部長
森 雄亮
もり ゆうすけ



呼吸器内科副部長
小松 正弥
こまつ まさや



呼吸器内科
芳中 陽菜
よしなか ひな